

かゝる幾を以て主として獨立的存在の存在を以て二場にしては社會自身の間
争の有用と互保を善後名義の極限にあたりて以て是れは運動の
積極的運動にも全悦業として認め得る間争を善後とせしめたる如
せしめたる道徳を以て之れは之れを認め得る間争を善後とせしめたる如
今之れは之れを以て之れを認め得る間争を善後とせしめたる如

(三)

左記の如き事情は二場を以てするに二場にしては最早二場は善後と
の他は之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
他二場は之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く

四、 恒業多 官務多 官務

一、ト今、少數にしては之れを以てするに二場にしては最早二場は善後と
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く

を以て之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く

二、亦、此に二場にしては之れを以てするに二場にしては最早二場は善後と
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く

之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く
之れを以て互保とせしめたる如くは之れを以て互保とせしめたる如く